

最期まで自分らしく生きるために 「人生会議」してみませんか

周囲の信頼する人たち と話し合い、思いを共有

誰でも、命に関わる大きな病気やケガなどにより、突然、自分の希望や思いを伝えることができなくなる可能性があります。自分の意思を伝えられなくなる場合に備

えて、前もって、自分が希望する医療やケアについて、家族や医療・介護の専門職に伝えておくことはとても大事です。最期まで自分らしく生きるため、普段から周囲の信頼する人たちと、「人生会議」をしてみませんか。市は、医療・介護関係団体

と連携し、「ACPの手引き」(広島県地域保健対策協議会作成のリーフレット)を活用して人生会議の普及に取り組んでいます。この手引きは、各区地域支えあい課で配布しているほか、市ホームページでも入手できます。
市HP ■ ページ番号 **887**

「人生会議(ACP:アドバンス・ケア・プランニング)」とは、もしものときのために、自分が望む医療やケアについて前もって考え、その希望や思いについて、家族や医療・介護の専門職など信頼できる人と繰り返し話し合い、共有する取り組みのことです。
園地域包括ケア推進課 (☎504-2648、☎504-2136)

インタビュー interview

これからの人生のこと、心を楽しんで考えました

金本和己さん(72)は、昨年10月から、家族、かかりつけ医と人生会議をしています。



「ACPの手引き」を手にする金本さん(左)と野島医師(右)

10年来のかかりつけ医である野島秀樹医師(野島内科医院(南区))から勧められて、人生会議のことを初めて知ったという金本さん。これからの医療や生活に関する希望、思いを見つめ直し、家族と話し合うきっかけとして、人生会議に取り組むことにしました。例えば、がんで末期を迎えた時、延命治療か緩和ケアか…。金本さんは「今日、明日、何が起こるか分かりませんから、自分の思いを明確にしておくことは大切なことだと思います。身構えてしまいそうですが、先生の『今の時点での気持ちが整理できれば良いです。今後変化しても構いません』との言葉に、心を楽しんで考えることができました」と話します。

野島医師は「人生会議は一度きりのものではなく、繰り返し話し合い、気持ちの変化にも寄り添っていくものです。治療やケアの方針についても、皆で希望を共有していきましょう」と優しく語りかけます。

●人生会議の公開講座を動画配信します!

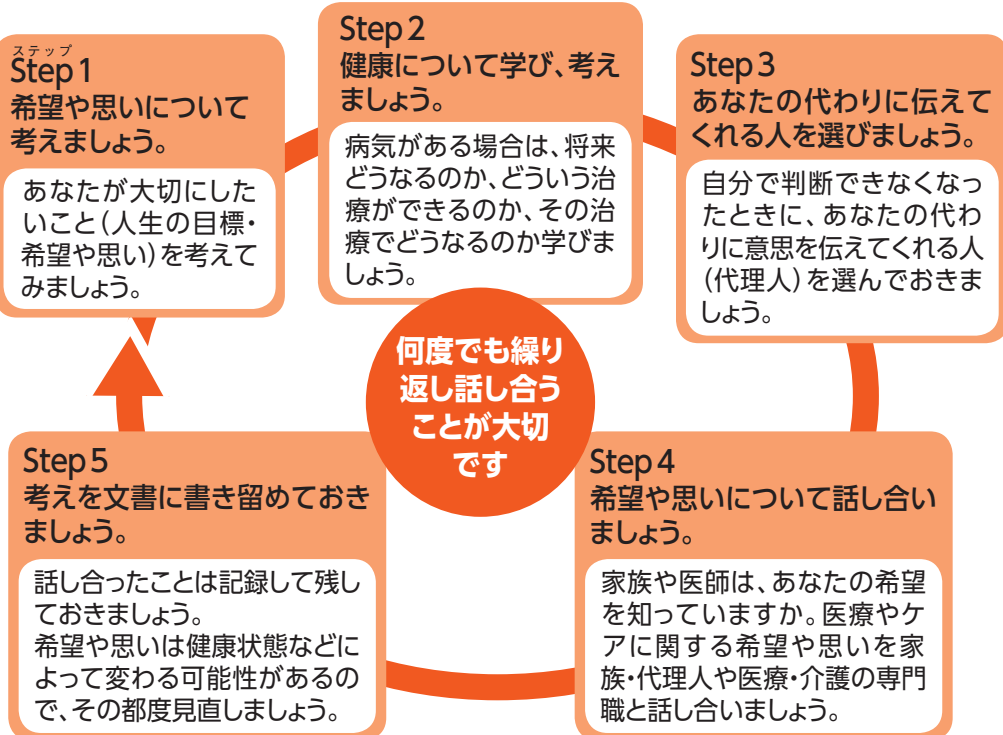


自身の経験を通じて
感じ思ったことを初めて語ります。

ミスター赤ヘル・山本浩二さんと広島テレビ放送アナウンサー・馬場のぶえさんの体験談を交えた「人生会議公開講座」をYouTubeで期間限定配信!
【期間】2月1日(月)~3月31日(水)



話し合いの進め方(例)



紙屋町・八丁堀地区で公共的空間活用社会実験 基町クレドふれあい広場を 新たな憩いの空間に

「ひとが居心地よく歩きやすいストリート空間」をテーマに、3月28日(日)まで、コロナ禍での都心における新たな憩いの場を創出する社会実験を行っています。

園都市機能調整部都心空間づくり担当(☎504-2766、☎504-2309)

第1弾は相生通りの 道路空間を活用

紙屋町・八丁堀地区では、昨年3月に相生通りで、都心に新たな憩いの空間を創出するための社会実験を行いました。道路空間や近隣の民地にウッドデッキや植栽、コンテナ店舗を約2カ月間常設し、憩える空間を創出することで、今後のまちなか空間の可能性を検証しました。

期間中は、ランチ利用やちょっとした休憩、植栽の緑や花の彩りを楽しむ利用者の姿が多く見られました。

終了後のアンケート調査でも、「通りで軽く腰掛けることのできる場は大切」「おしゃれな雰囲気が良かった」などの多くの感想が寄せられました。

コロナ禍での「広場」の活用を提案

人と人との十分な距離をとることができる屋外の「広場」は、安心して滞在できる空間として、withコロナにおける都市の新しい生活様式に対応するさまざまな可能性を秘めています。また、近年は都心の民地内の開放された空間を活用した事業が注目されていることから、先行事例となることを期待して、今回の広場を選定しました。

期間中、広場を利用する際は、マスクの着用など、新型コロナウイルス感染症防止策の徹底をお願いします。

基町クレド前ふれあい広場(中区基町6-78)

【期間】1月28日(木)~3月28日(日)

市HP ■ ページ番号 **200261**



社会実験期間中のイメージ
おしゃれな家具や植栽、環境負荷の少ない人工芝、寒さ対策のパラソルヒーターを設置するなど、冬の屋外空間を快適で居心地よく過ごせる工夫をしています。